

6・3 貨物の安全な積み付けおよび運送

6・3・1 危険物の運送

国際航海における危険品の海上輸送は、固体ばら積み貨物については国際海上固体ばら積み貨物規則(IMSBCコード)、個品危険物(コンテナ)については国際海上危険物規程(IMDGコード)、液体ばら積み貨物については危険化学品のばら積運送のための船舶の構造および設備に関する国際規則(IBCコード)に詳細な要件が規定されており、国際海事機関(IMO)貨物運送小委員会(CCC)と汚染防止・対応小委員会(PPR)において、定期的な見直しが行われている。

1. IMDGコード(国際海上危険物規定)改正

同コードは、危険物運送の実態等に対応して2年毎に改正が行われている。

第38回改正は2018年1月1日に発効された。次回の第39次改正に向けて、CCCにて審議がなされている。

2. IMSBCコード(国際海上固体ばら積み貨物規則)改正

IMSBCコードは2011年1月1日に強制化された。IMDGコードと同様、2年毎に改正が行われ、最新版は2017年1月に発効した。コード未採用の貨物の固体ばら積み貨物に掛かる詳細要件についての提案が各国からIMOに提出されており、CCCおよび海上安全委員会(MSC)において審議、採択されている。

石炭およびボーキサイトの液状化危険性および安全要件について、詳細な技術的事項を検討することが必要とされたため、我が国をコーディネーターとする通信部会(CG)で具体的な検討を行った。CCC3において、CGの報告に基づき、個別スケジュールの液状化に係る規定が改正され、石炭のための新たな運送許容水分値決定がIMSBCコードに追加することが合意され、ボーキサイトの液状化とシードケーキに係る基準の見直しに関するCGが新たに設置された。2017年9月に行われたCCC4にて、液状化のおそれのあるボーキサイトの運送要件および運送許容水分値の試験方法が決定し、各国に回章された。

6・3・2 コンテナの損失防止策に係る SOLAS 条約改正(コンテナ総重量確定制度)

1. 背景・経緯

2015年6月のMSC95において、海上コンテナ総重量の誤申告が原因とされるコンテナ損失事故の防止策として、船積み前のコンテナ実重量の確実な検量ならびに証明が行われるよう、国際海上輸出のコンテナ総重量検証(VGM)を義務付ける海上人命安全条約(SOLAS条約)の改正が採択され、2016年7月1日に発効した。

2. わが国のコンテナ総重量確定制度

上記の改正 SOLAS 発効を受け、船舶安全関係省令改正、告示、実施ガイドライン制定等の法整備が行われたが、我が国のコンテナターミナル、荷主および船社において、大きな混

乱は生じていない。国交省海事局では、諸外国を含むコンテナ情報伝達の課題調査・検討を行うため、我が国における国際海上輸出コンテナの安定的な輸送に必要な重量確定・情報伝達等のあり方に係る検討会が開催されている。

6・3・3 ISO/TC104(貨物コンテナ)に関する対応

1. ISO/TC104(貨物コンテナ)の概要

国際標準化機構(ISO)の中で 104 番目に設置された専門委員会(TC)である TC104 は 26 カ国の正式加盟国(P メンバー:業務に積極的に参画し、規格投票に対する債務および可能な限り会議に参加するメンバー)および 24 カ国のオブザーバー加盟国(O メンバー:オブザーバーとして業務に参画するメンバーであり、意見提出、会議出席の権利を有する)にて構成され、貨物コンテナ、特に海上コンテナに関する標準化について審議している。傘下に 3 つの小委員会(SC)および 8 つのワーキンググループ(WG)が置かれている。

当協会は、日本工業標準調査会(JISC:Japanese Industrial Standards Committee)の承認の下、TC104 の国内審議委員会「ISO コンテナ委員会」の事務局を務めている。

ISO/TC104“貨物コンテナ”	(ANSI(米国規格協会))
SC1“一般コンテナ”	(AFNOR(フランス規格協会))
WG1“一般貨物コンテナ”	(AFNOR)
WG2“取扱いおよび固縛”	(DS(デンマーク規格協会))
SC2“特殊コンテナ”	(BSI(英国規格協会))
WG1“冷凍コンテナ”	(BSI)
WG4“タンクコンテナ”	(BSI)
WG6“プラットフォームコンテナ”	(SAC(中国標準化機関))
SC4“識別および通信”	(DIN(ドイツ規格協会))
WG1“コード、識別および表示方法”	(未定)
WG2“コンテナおよび付属品に関する AEI”	(ANSI)
WG3“通信および用語”	(AFNOR)
()内は事務局	

2. ISO/TC104 の活動状況

ISO/TC104 は、2017 年 4 月から 2018 年 3 月に以下 4 件の国際規格原案(DIS)を承認した。

SC1	ISO 668:2013/DAmD 3	Series1 freight containers – Classification, dimensions and ratings – Amendment3
SC2	ISO/DIS 1496-5 (Ed 3)	Series1 freight containers – Specification and testing – Part5: Platform and platform-based containers
	ISO/DIS 1496-2 (Ed 6)	Series1 freight containers – Specification and testing – Part2: Thermal containers
	ISO/DIS 1496-3 (Ed 5)	Series1 freight containers – Specification and testing – Part3: Tank containers for liquids, gases and pressurized dry bulk